

# 太田忠幸・洋子

第6回全日本ターゲット・パードゴルフ全国大会in京都  
男・女2人組の部優勝



# 努力の 向こう側に――

「優勝したいとは思っていましたが、まさか本当にできると思わなかった」と驚きの表情を見せた。

第6回全日本ターゲット・パードゴルフ全国大会in京都（以下、TBG）は9月21、22の両日、京都府舞鶴市の青葉山ろく公園で開かれ、登米市ターゲット・パードゴルフ協会に所属する太田忠幸さん、洋子さん夫妻が男・女2人組の部で優勝。悲願の日本一の座に輝いた。

ターゲット・パードゴルフ（以下、TBG）は、羽根の付いたゴルフボールを、ゴルフのアイアンに似た専用クラブで打ち、傘を逆さに立てたようなネットホールに何打で入れるかを競う。傘の中（アドバンテージホール）に入ればショット数が、下側の輪の中（セカンドホール）に入ればショット数に1打足した打数が記録となる。全日本大会の2人組の部では、各ホールの1打目を2人がそれぞれが打ち、優位な方を選択。以降は交互に打ち、18ホールの合計打数で勝敗を決める。

太田夫妻は、一昨年の全日本大会で3位入賞を果たし、昨年も優勝を目指して臨んだが、結果は14位に終

わった。「遠くに飛ばすことばかり意識し、自分勝手なプレーが多く、ミスが続いた」と反省。狭いコースや木があるコースを想定し、状況に応じた打ち分け方や正確性を強化。クラブを握らない日はなかった」と言うほど、以前にも増して練習に励んだ。

順調に実力が付いていくのを実感していたが、練習量の増加に伴い忠幸さんの膝には疲労が蓄積。ついに悲鳴を上げた。痛みを我慢しながら練習を続け、地方の大会に出るも、思うような結果は出ない。焦る気持ちを抑え、通院して治療に専念し、全日本大会前に完治。万全の状態で大大会当日を迎えた。

今大会のコースは、幅が狭く、難易度が高く、練習の成果が試された。前回までの反省を生かし、どう攻めるか戦略を話し合いながら、正確性を重視。ショットホールでは忠幸さんがホールインワンを達成するなど、ほかのチームが難コースに苦戦する中、前半9ホールを3アンダーで折り返す。後半、コースの幅が広がったことで、飛ばしたいという気持ちが出てしまう。力が入り、9、10ホールでOBを打ちスコアを落とした。

今までの大会では、最後までミスを引きずってしまっただが、この日は違った。これまでの練習を思い出し、もう一度集中。終盤に巻き返し、終わってみれば2位に6打差をつけて優勝。全日本大会初制覇を成し遂げた。

同協会の佐藤雄三会長は「登米市ターゲット・パードゴルフ協会では、競技のレベルを上げるため、長沼フットピア公園内の一部を、協会のメンバーで除草し、暗渠を設置してコースを整備した。そのかいもあり、素晴らしい成績を残してくれた。全体のレベルアップや競技の普及にもつながる」とねぎらった。洋子さんは「毎日の練習が自信になった。努力はうそをつかないと実感した」と振り返り、忠幸さんは「お互いにミスをカバーし合えるようになったのが優勝につながった。この競技は仲間たちと話しながらできることと、ホールに入ったときの爽快感が魅力。多くの人に興味を持ってもらい、一緒にプレーしたい」と呼び掛ける。

優勝はできたが、実力的にはまだまだ上がいる。次は個人の部でも優勝したい。2人は口をそろえて次の目標を語り、頬を緩めた。



3



2



1

1 長沼フットピア公園を自分たちで整備してTBG場を開設  
2 体験希望者には道具の貸し出しも可能  
3 毎週、火、木、日曜の午前中に長沼フットピア公園で練習。興味のある人は下記に問い合わせください  
登米市TBG協会  
☎0220(22)5270

## Ohta Tadayuki

1949年11月20日生まれ、迫町下舟丁在住。2003年から競技を始め、10年からは登米市ターゲット・パードゴルフ協会の事務局長を務める。趣味は家庭菜園。

## Ohta Yoko

1953年12月16日生まれ。退職を機に競技を始める。趣味は水泳。